

## 第24回 アジアボウリング選手権大会

# GOLD RUSH



【女子トリオ】左より石本美来・泉宗心音・野島はるな



【男子チーム】後列左より安里秀策・宮澤拓哉・和田翔吾  
前列左より伊吹太陽・佐々木智之・新畑雄飛



【オールイベント】新畑雄飛

【マスターズ】和田翔吾

### — 日本、アジアの頂点に —

第24回アジアボウリング選手権大会で、日本代表が金メダル2個を含む4つのメダルを獲得しました。

女子トリオ戦は石本美来・泉宗心音・野島はるなチームが優勝。男子チーム戦では他国の追従を許さない圧勝ぶり、「チームワークの日本」を強く印象づけました。どちらも16年ぶりの金メダル獲得です。

個人種目でも、新畑雄飛がオールイベントで銀メダル、和田翔吾はマスターズ戦で銅メダルを獲得した日本。アジアの強豪を名乗るにふさわしい成果を残しました。

大会の詳細は次号でお伝えします。お楽しみに。

Photo By Asian Bowling Federation

- 2面 イベントレポート
- 3面 ボウリング界の未来を考えるシンポジウム
- 4～5面 U22 Fukuoka Summer Cup
- 6～7面 日本スポーツマスターズ2016
- 8面 International Headline、ナショナルチーム通信、Top Bowler



## 内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯 第45回 全国都道府県対抗ボウリング選手権大会

第72回国民体育大会ボウリング競技リハーサル大会

2016/11/3(木・祝) ▶ 6(日)



えひめ国体マスコット  
みきゃん  
28えひめ国体・大会承認 第1-33号

### キスケボウル

〒790-0066  
愛媛県松山市宮田町4  
TEL 089-998-3000  
FAX 089-921-0134

- 主催 (公財)全日本ボウリング協会 松山市 松山市教育委員会  
愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会松山市実行委員会
- 後援 スポーツ庁 (公財)日本体育協会 愛媛県 愛媛県教育委員会  
愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会実行委員会 (公財)愛媛県体育協会  
(公財)松山市体育協会 株式会社 共同通信社  
全国ボウリング公認競技場協議会 愛媛県ボウリング公認競技場協議会
- 主管 愛媛県ボウリング連盟

# 大学ボウリングの要点を網羅

## 大学選手強化研修合宿

全日本学生連合の選手を対象とした「大学選手強化研修合宿」が、9月7日(水)から9日(金)にかけて、大阪・イグルボウル(公認No.177・001)で開催されました。今年で2回目の開催となるこの合宿、ボウリングの基礎知識や投球技術に加え、学連で活動する上での要点も網羅した、充実の合宿となりました。

初日はまず学生連合のリーダースキャンプとして、学連の運営や競技会開催の諸手続きなどについての情報交換を行いました。開講式に続いて座学講習から合宿を開始。今回の講師を務める協会競技力向上部会の山下知且部員が、ボウリングのルールから現在の世界的な競技状況までを解説したうえで、選手が目指すべき「強いボウラー」像を具体的に示しました。

最終日はゲームをプレーしながら、午後はWTBA公式オイルパターンの「TOKYO」に挑戦。練習投球を10分間だけ行い、7ゲームの記録をとりました。難易度高めのコンディションに、どれだけ対応できるかを試しました。夕食後にはインナーマッスを設定されたオイルパターン(難易度高)でプレー。大学をまたいだ即興の5人チームを組んで、レーンコンディションの変化や対応方法などを、いかにメンバーで共有し、スコアにつなげるかを試しました。チーム醸成のために学連が大事にしている「声出し」をしながら、普段はライバルの選手同士でチームの作り方を学んでいきました。



投球フォームの癖を修正



基礎知識を学ぶ講義も



レーンコンディション対応力もUP

**JAPAN SPORT COUNCIL**  
日本スポーツ振興センター

この事業は日本スポーツ振興センターの助成を受けて実施しています。

## 審判昇格に76名トライ

### JBC公認第1種・第2種 審判員昇格試験



平成28年度JBC公認第1種・第2種審判員昇格試験が9月16日(金)から18日(日)、神奈川県川崎市教育文化会館で開催されました。

この昇格試験は、すでに審判資格を有している人がより上位の資格を得るための試験として、2年に1度開催。今回は76名が受験しました。

はじめにボウリング界の現状、協会の方向性などを確認した上で、競技規則の内容などを改めて学びます。そして第2種以上、あるいは第1種にのみ担当することが可能な任務について解説の講習を受け、認定試験が実施されました。

第2種は試験の結果により合格を判定。第1種は試験と後日提出によるレポート課題をもとに合格者が決まります。

## JBC公認ドリラー研修会

JBC公認ドリラー有資格者研修会・ブロンズコースが9月5日(月)・6日(火)の両日、青森・アオモリボウルで開催されました。協会認定部会員の日坂義人ドリラーを講師に、ドリラー必須の知識とスキルを基礎から確認する講習が展開されました。

豊富な映像を見ながらの授業や、特殊な機器を用いてボールの回転特性を読みとる実

今年度のJBC公認ドリラー有資格者研修会は、シルバークースを神奈川県、ブロンズコースを広島でも開催予定です。受講希望の方はお早めにお申込みください。

▽シルバークース  
期日 11月14日(月)・15日(火)  
会場 スポルト八景ボウル (神奈川県横浜市)

▽ブロンズコース(広島)  
期日 平成29年2月20日(月)・21日(火)  
会場 広島ボウル

## 青森で開催



回転特性を見抜く実験



日坂ドリラーによる充実の研修

## イベントカレンダー 10月&11月

- ▽10月5日(水)・10日(月)・祝 第71回国民体育大会(希望郷いわて国体) 岩手・ビッグハウススポーツパレールン
- ▽10月8日(土) 地区代表理事会議 岩手・ビッグハウススポーツパレールン
- ▽10月11日(金)・23日(日) 第49回全日本新人選手権大会 兵庫・神戸六甲ボウル
- ▽10月29日(土)・30日(日) (公財)日本体育協会公認スポーツ指導者講師別全国研修会 神奈川県川崎市教育文化会館
- ▽11月3日(木・祝) 6日 C公認ドリラー有資格者研修会
- ▽11月11日(金)・13日(日) 文部科学大臣杯第54回全日本大学選手権大会 神奈川県川崎市
- ▽11月11日(金)・13日(日) シュニャパン合宿 大阪・イグルボウル
- ▽11月14日(月)・15日(火) JBC公認ドリラー有資格者研修会
- ▽11月18日(金)・20日(日) 第7回東西日本シニア競技大会 大阪・イグルボウル
- ▽11月22日(火)・30日(水) 第14回アジアシニア選手権大会 大韓民国
- ▽11月25日(金)・27日(日) 第49回全日本実業団選手権大会 東京・東大和グラウンドボウル

## 平成28年度各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	平成28年9月30日現在	
		公認件数	リーグ登録件数
北海道地区	北海道	5	46
東北地区	青森	30	56
	岩手	11	11
	宮城	2	42
	秋田	18	18
	山形	1	32
関東地区	茨城	4	35
	栃木	4	90
	群馬	12	9
	埼玉	16	37
	東京	20	47
北信越地区	新潟	3	23
	富山	1	48
	石川	13	28
	福井	9	79
	長野	3	148
東海地区	岐阜	31	81
	愛知	81	75
	三重	38	28
	滋賀	8	8
	京都	11	7
関西地区	和歌山	2	7
	奈良	1	72
	大阪	4	9
	兵庫	14	19
	徳島	21	22
四国地区	香川	1	11
	愛媛	50	63
	高松	7	3
	徳島	21	28
	福岡	28	13
九州・沖縄地区	福岡	13	1
	佐賀	9	43
	熊本	9	27
	鹿児島	16	27
	沖縄	6	5
全日本学生連合	287	1,522	287

- 賛助会員・特別法人・個人会員紹介
- 〈平成28年10月1日以降登録者〉
- ▽特別個人会員
    - ▽大阪府 大阪府ボウリング公認競技場協議会(会長 大数芳崇、平川商事株式会社(アロー)松原店支配人 内野充宏、株式会社木屋社代表取締役八重口修吾)
    - ▽島根県 しんじ湖ボウル(支配人 恩田充、株式会社出雲会館(代表取締役 今岡余一良、株式会社松江センターボウル(代表取締役 今岡余一良))
    - ▽北海道 岡村順一(JBC評議員、連盟理事長)、光英一
    - ▽岩手県 大平洋子
    - ▽埼玉県 沼上孝幸、柴田忠一郎、金子正春、吉澤章子、秋元一美、阿部清
    - ▽静岡県 望月義夫(連盟会長)、植田徹(同副会長)、板垣幸吉(同理事)
    - ▽徳島県 岩本昭(連盟理事長)、和田龍康(同副理事長)、三嶋正志(連盟副会長)、永野勇(連盟副理事長)、石崎修(同副理事長)、石崎修(同副理事長)、幸、三森秀人
    - ▽静岡県 望月義夫(連盟会長)、植田徹(同副会長)、板垣幸吉(同理事)
    - ▽長崎県 峰允男、永野臣丸田忠
    - ▽大阪府 砂古口信夫(JBC理事、連盟会長)、奴井和幸(連盟副会長)、二重忠二(同副会長)、米澤満(JBC理事)、秦正隆、尾辻桂子、園田眞明
    - ▽島根県 森山健一(連盟会長)、吉岡伸義、原進
    - ▽広島県 八田里子、佐々木繁美、藤岡秀美、小川美由希、望月美佐、中川キミ子、岸上和子、星川創、細戸千聖、宮脇秀輔、山本智哉、浅田杏菜、石本美来、森本海成、井上巧真、大崎智
    - ▽徳島県 岩本昭(連盟理事長)、和田龍康(同副理事長)、三嶋正志(連盟副会長)、永野勇(連盟副理事長)、石崎修(同副理事長)、幸、三森秀人
    - ▽福岡県 峰允男、永野臣丸田忠
    - ▽長崎県 峰允男、永野臣丸田忠
    - ▽大阪府 砂古口信夫(JBC理事、連盟会長)、奴井和幸(連盟副会長)、二重忠二(同副会長)、米澤満(JBC理事)、秦正隆、尾辻桂子、園田眞明
    - ▽島根県 森山健一(連盟会長)、吉岡伸義、原進
    - ▽広島県 八田里子、佐々木繁美、藤岡秀美、小川美由希、望月美佐、中川キミ子、岸上和子、星川創、細戸千聖、宮脇秀輔、山本智哉、浅田杏菜、石本美来、森本海成、井上巧真、大崎智

# 新たなボウリング像のヒントがここに

## 第4回 ボウリング界の未来を考えるシンポジウム

「第4回ボウリング界の未来を考えるシンポジウム」が9月12日(月)、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。「新時代のボウリングを目指して」をテーマにした今回は、ボウリング場経営、スポーツルール、テレビ、ゴルフ産業の4分野から講師を招き、ボウリング革新につながるアイデアを伺いました。

### 若者にボウリング場で遊ばせる方法

笹塚ボウル  
専務取締役  
財津宜史氏



過去のシンポジウムでは一貫して「ボウリング界外部」の識者から話を聞いてきました。今回も、今回は人々とボウリングの「接点」であるボウリング場の視点を、財津氏に語っていただきました。全く新しいものを生み出すことは難しいが、ボウリングと何かを組み合わせることで新しい価値を創出するのでは、と。そのために、コアなファン層を持つイベントや影響力の強い人を見つけ出し、ボウリングとコラボさせる企画を、まずは主催者が楽しみながら作っていくことが大切、と語りました。



### ボウリング界活性化のためのスポーツルール論からの「提言」

中京大学  
名誉教授  
守能信次氏



バレーボールのサーブ権撤廃、卓球の促進ルール採用などは、競技時間が長引くことを回避するために執られたルール変更。テレビ放送の恩恵にも合致し、見る側の面白さと競技の難度を高めるような改革は、そのスポーツが生き残るために必要なことと解説しました。

### テレビにおけるスポーツ中継番組の存在価値とボウリングの可能性

(株)テレビ東京制作  
常務取締役  
武石英二氏



テレビはスポーツを臨場感とともに伝えられるメディアとして発展。野球選手のメジャー進出などをきっかけに、視聴者の興味が高まり、世界へと変化したことで、テレビ局では新しい中継対象となるスポーツの発掘が進ましました。その条件の一つでもある

### ゴルフ界が辿った無為無策の軌跡と現在の光明

(株)ゴルフ用品界社  
代表取締役  
片山哲郎氏



ゴルフ用品メーカーなど17もの関連団体があり、それぞれのステークホルダーや成功論が異なることが方向性の一致を阻害していたと解説。戦略的・継続的な若者ゴルフファーム増加のために、大学体育や観光産業との連携を新たに構築し動き出している現状を紹介しました。

### コーディネーター



コーディネーター  
中京大学教授／協会評議員  
来田亨子氏

ゴルフは日本経済の盛衰に比例するように、市場規模がピーク時の約半分まで縮小する危機にありました。大ブームからの衰退を経て今に至ったボウリングと類似点が多いことから、ゴルフ産業を見つめている片山氏に講演を依頼しました。  
ゴルフにも競技団体、ゴルフ

## 懇親会

シンポジウムに続いて、関係者による懇親会が開かれました。北川会長が冒頭、会長就任の報告と所信表明のあいさつを行い、ボウリングの普及を目指して業界各団体と連携を強めていきたいと話しました。



ナショナルチーム下地監督と向谷・野島・宮澤各選手  
宮澤選手は銀メダルを披露



- ▽オフィシャルスポンサー  
日本航空(JAL)、パナソニックリビング首都圏・関東株式会社、凸版印刷株式会社、株式会社おぞら銀行、ダイドードリンコ株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、株式会社エナジックインターナショナル、東海東京証券株式会社
- ▽オフィシャルサポーター  
株式会社アメリカンボウリングサークルサービス、株式会社サンブリッジ、レジェンドスター株式会社、株式会社ハイ・スポーツ社、株式会社ドーム(Under Armour)、株式会社佐田(オーストリア)
- ▽オフィシャルサポーター  
株式会社ジーン、有株式会社イトタネーム、株式会社アイワ、株式会社ファンブック (順不同・敬称略)

### 協賛企業



北川会長  
全公協伊藤会長  
日場協米須副会長



# U22

## 2nd Fukuoka Summer Cup Bowling Tournament 2016

**開会式**  
 8月16日(日)15時30分から始まった開会式には、関係者もまわりの海外からも多くの大会関係者が駆けつけて参列した。

U22 2nd Fukuoka Summer Cup 2016 Sponsored by Stormが8月19日(金)から21日(日)にかけて、福岡 博多スタジアム(公称No.140・016)で開催された。アジア10の国と地域から22歳以下の選手74名が参加。地元福岡のエリアで昨年第3位の中野勝仁が、リベンジにふさわしい圧巻の優勝劇を披露した。

**ガイド**  
 アジア圏のユースボウリングを育成する目的で、昨年創設されたU22 Fukuoka Summer Cup。前回大会を越える50の国と地域から、277名の選手が出場した。

競走目録は男女別の個人戦(女子は小学生にハンディキャップあり)。予選は4ゲーム×10回の計38ゲームを投球し、上位56名が準決勝に進出。さらに4ゲームを行い、12ゲームのトータルスコアで決勝進出者16名を決定した。

決勝はゲーム勝のトータルスコアを競う。1・2回戦は対1・2回戦、最低スコアの1名が敗退となるリミネーション方式。優勝決定戦には、各チームが選手を擁護する権利を行使し、最終に主権者を表して北川協会の会長が授けられた。

日本国歌斉唱を行い、参加国・地域を紹介。最後に元福岡代表の関谷伸太郎、松田未佑選手が選手宣誓を行い、開会式を終了した。

男子は、優勝からトップ10の選手にはボールやボールバッグ、リネンなどの豪華賞品が多数プレゼントされた。女子は60名がエントリーした。

残りの3名まで並びついた女子は、3名ごとトラフアップを決め、優勝を争った。リトイで大林令奈選手(岡山)が再びトップスコアを決めて優勝。男子は最終から最後までスライクシュンでかなりの長期戦となったが、シンカボルのマティヤス・オニ選手がこのイベントを制した。

男子も、優勝からトップ10の選手にはボールやボールバッグ、リネンなどの豪華賞品が多数プレゼントされた。女子は60名がエントリーした。

残り3名まで並びついた女子は、3名ごとトラフアップを決め、優勝を争った。リトイで大林令奈選手(岡山)が再びトップスコアを決めて優勝。男子は最終から最後までスライクシュンでかなりの長期戦となったが、シンカボルのマティヤス・オニ選手がこのイベントを制した。

# 中野勝仁

## リベンジ成功!

福岡

リベンジ成功!

競技

男子観客シンガルスを行うこの大会。予選前半を終えてトップに立ったのはインドネシアのラサティだった。2ゲーム目のスコアは女子が200で逆転。中野が207で追いつき、2ゲーム目は中野が211で逆転。3ゲーム目は中野が211で逆転。4ゲーム目は中野が211で逆転。5ゲーム目は中野が211で逆転。6ゲーム目は中野が211で逆転。7ゲーム目は中野が211で逆転。8ゲーム目は中野が211で逆転。9ゲーム目は中野が211で逆転。10ゲーム目は中野が211で逆転。11ゲーム目は中野が211で逆転。12ゲーム目は中野が211で逆転。13ゲーム目は中野が211で逆転。14ゲーム目は中野が211で逆転。15ゲーム目は中野が211で逆転。16ゲーム目は中野が211で逆転。

**大会参加国・地域**  
 中華台北、インドネシア、グアム、中国香港、大韓民国、中国カオマン、シンガポール、タイ、日本(順不同)

**大会実行委員会**  
 会長 福岡サマーカップ実行委員会 福岡県ボウリング連盟

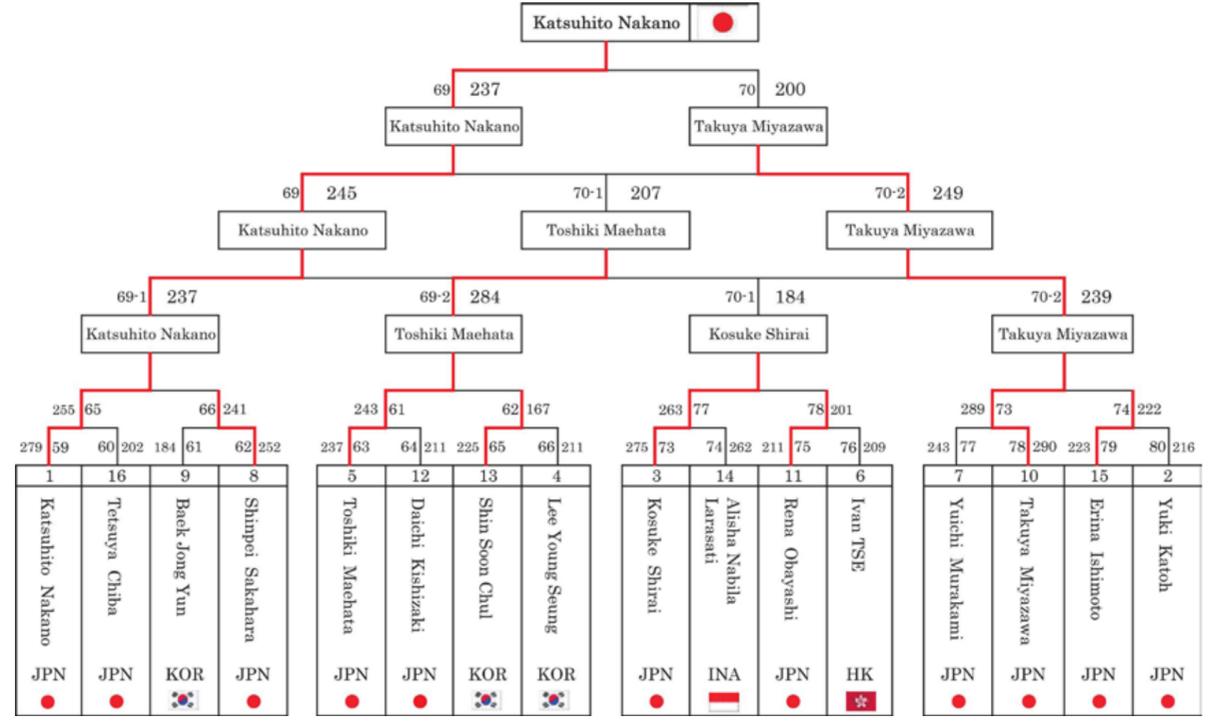
**大会審判員**  
 福岡サマーカップ実行委員会 福岡県ボウリング連盟

**リベンジ成功!**  
 中野勝仁は、前回は準優勝だった。今回は優勝した。リベンジ成功!

中野勝仁は、前回は準優勝だった。今回は優勝した。リベンジ成功!

**リベンジ成功!**  
 中野勝仁は、前回は準優勝だった。今回は優勝した。リベンジ成功!

中野勝仁は、前回は準優勝だった。今回は優勝した。リベンジ成功!



**【最終成績】**

優勝	中野勝仁	日本(福岡)
準優勝	宮澤拓哉	日本(群馬)
第3位	前畑利樹	日本(福岡)
第4位	白井康介	日本(愛知)
第5位	坂原慎平	日本(和歌山)
第6位	大林令奈	日本(岡山)
第7位	Shin Soon Chul	大韓民国
第8位	石本恵梨奈	日本(大阪)
第9位	加藤勇紀	日本(三重)
第10位	Lee Young Seung	大韓民国
第11位	Ivan TSE	中国香港
第12位	村上裕一	日本(東京)
第13位	Baek Jong Yun	大韓民国
第14位	岸崎大知	日本(学連)
第15位	Alisha Nabila Larasati	インドネシア
第16位	千葉鉄也	日本(滋賀)



**多彩なイベントも**  
 マスターショット、ストライクチャレンジ、リベンジゲームなど、盛りだくさんのイベントが行われた。

**豪華賞品を受け取る優勝者**  
 優勝者は豪華な賞品を受け取り、喜びを表現した。

**ストライクチャレンジはオン選手(上)と大林選手(下)が制した**  
 このイベントでは、ストライクチャレンジが行われ、オン選手と大林選手が優勝した。

**チャリティゲームに60名もの参加が**  
 大会期間中にはチャリティゲームも行われ、多くの参加者を集めた。

# 山極正勝 太田千恵が王者に

韓国からも大選手団が出場



秋田市観光文化スポーツ部 内藤次長



韓国選手団監督



佐藤常務理事



日本スポーツマスターズ2016秋田大会のボウリング競技が9月23日(金)から26日(月)にかけて秋田・ラウンドワンスタジアム秋田店(公競No.105・028)で開催された。34都道府県と韓国から256名のマスターズ世代ボウラーが出場した。

女子選手権者決定戦で太田千恵(神奈川)が2度目の優勝を果たしたのを始め、神奈川県勢は3種目を制覇。男子選手権者決定戦では山極正勝(滋賀)が初優勝を遂げた。

## 日本スポーツマスターズ2016 秋田大会

### 開始式

ボウリング競技の開始式は9月24日(土)8時より挙行された。参加34都道府県の監督と日韓スポーツ交流のため来日した韓国選手団が入場行進し、秋田選手団が入場行進した。佐藤常務理事が北川真会長からのメッセージを代読し、秋田市観光文化スポーツ部

部の内藤克幸次長より祝辞をいただいた。

韓国選手団の魯永洙監督にも挨拶をいただき、役員、選手を紹介し、日韓両国のペナント交換と記念品の贈呈が行われた。

最後に参加全選手を代表し、秋田県代表の佐藤由佳子選手が宣誓を行い、開会式を滞りなく終了した。



ガッツポーズの山極(左)と太田

### 競技

佐藤選手による宣誓



中山プロがアドバイス



### 中山律子プロのボウリング教室

日本スポーツマスターズのボウリングシンボルメンバーを務める中山律子プロによるボウリング教室が9月23日(金)に開かれた。

ボウリングブームを牽引した大スターの人氣は健在で、教室には秋田市民68名が参加して大盛況。中山プロとサポ

### ガイド

競技志向の高いマスターズ世代(中高年齢)のための総合スポーツ大会「日本スポーツマスターズ」。日韓スポーツ交流を兼ねて韓国の代表選手団も参加し、ボウリング競技には今大会256名が出場した。

競技者年齢層が幅広いボウリングは、出場資格を45歳以上に設定。1チームは4名で編成され、2人チーム戦と4人チーム戦を行い、2種目の個人スコア上位24名が選手権者決定戦に進出。3種目とも男女別で、6ゲームのトーナメントで順位を決定する。

### 女子2人チーム戦

韓国B(嚴・金)が前半1247の好スコアでトップ。福島A(新井田・志賀)が27ピン差の2位につけた。さらに6ピン差で4位につけていた青森A(中村・鳥谷部)は、後半1ゲーム目の444で韓国Bと2ピン差まで追った。2ゲーム目は韓国Bに再びリードをひかれた青森Aだったが、最終ゲームの429で逆転し優勝を決めた。

### 女子4人チーム戦

前半は愛知(中西・今井・西村・加藤)が2318とし、2位の神奈川(太田・郡司・押切・吉川)に54ピン差をつけた。しかし後半1ゲーム目で逆転を許してしまう。5位で折り返した韓国A(姜・金・嚴・廉)が後半2ゲーム目に983のビッグスコアをたたき出して首位を奪ったが、後半3ゲームともプラスのスコアにまどめた神奈川が最終ゲームで逆転優勝を決めた。

### 男子2人チーム戦

愛知A(石川・田中)が前半1395の高得点をマークした。神奈川B(佐藤・村上)も1361とし2位につけた。後半に入って愛知Aは350とスコアを落とし、ついに神奈川Aはこのゲーム4803で逆転はもろちん、一気に99ピンのリードを作った。続く2ゲームも420台を連発した神奈川Aが優勝を

### 男子4人チーム戦

916とロケットスタートを決めた福岡(齋藤・吉田・中田・垣内)が2638で前半トップ。2位の福岡(國友・古田・山口・大賀)はいきなり117ピン差をつけられた。逃げ切りの濃厚かと思われた福岡だったが、後半1ゲーム目にまさかの713。3位につけていた滋賀(藤田・田中

### 女子選手権者決定戦

藤原・山極)が3ピン差まで追ってきた。9位で折り返した岡山(仁木・伊浪・森本・佐古)も8809・881と打ち上げて逆転。最終ゲームは福岡が追い上げるも、10ピン差で岡山が逃げ切った。

鳥谷部エ子(青森)が前半3ゲームを終えて643をマークした。後半も230台を連発して順調にスコアを伸ばしていったが、吉川真弓(神奈川)もそれを上回るペースで差を詰めていった。最終ゲームを残して鳥谷部は1089、吉川は27ピン差で追っていた。太田千恵(神奈川)は後半269、253とビッグゲームを連発し、吉川と12ピン差まで追いつける。最終ゲームも249。あざやかに逆転して4年ぶり2度目の優勝を果たした。

## 文部科学大臣杯

# 第54回全日本大学ボウリング選手権大会

## 2016.11.11(金)▶13日

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会  
 後援 スポーツ庁 全国ボウリング公認競技場協議会  
 主管 全日本学生ボウリング連合 関東学生ボウリング連盟

川崎グランドボウル

〒210-0012 神奈川県川崎市川崎区宮前町11-14  
 TEL 044-244-2281  
<http://www.grandbowl.jp/kawasaki/>

日本代表

# 金<sup>3</sup>銀<sup>2</sup>獲得



想定を上回る好成績の日本代表

視覚障害者ボウリングのシングルス世界大会、「IBSA」テンピンボウリング世界選手権大会が、8月20日(日)から28日(日)にかけてポーランド・ウッチで開催されました。日本からは6名の代表選手が出場し、金3・銀2のメダル獲得を果たしました。障害者による3クラス別(男女混合)のシングルス戦が行われました。日本代表は6名が全員予選を突破してラウンドロビンに進出。さらに上位3名によるステップラダー決勝にも、日本は3クラスとも勝ち進みました。



B1クラス(全盲)はアイマスクをつけて競技

## IBSAシングルス世界選手権大会

代表選手を派遣した(一社)全日本視覚障害者ボウリング協会は、この大会に向けて直前合宿などの強化策を実施。成果は想定を上回る好成績となって表れました。10月1日(日)・2日(日)には東京・シチズンボウル(公認No.113・1113)で第15回となる全日本視覚障害者選手権大会も開催されます。

<b>山極正勝</b>	男子選手権者
滋賀県	53歳
使用ホール	Sapphire Jackal(15p2oz)
公認ドライバー	長沼 航 (公認No. 1309-05)
<b>太田千恵</b>	女子選手権者
神奈川県	53歳
使用ホール	Sapphire Jackal(15p)
公認ドライバー	岡部直治 (公認No. 1054-14)

男子選手権者決定戦  
3ゲーム目の288をマークした魚雅章(石川)が、前半3ゲームで757とトップに立った。山極正勝(滋賀)も1ゲーム目の280を含めて703にまで上がった。後半に入ってプラスゲームがなかなか出せない魚を山極が追い詰め、佐藤雄司(神奈川)も245・237と打ち上げてきた。最終ゲームを残して魚は139で首位をキープするも、山極は11ピン差、佐藤はさらに16ピン差という接戦。最後は209の山極が逆転して優勝を奪った。



男子2人チーム戦 入賞者



女子4人チーム戦 入賞者



男子4人チーム戦 入賞者



女子選手権者決定戦 入賞者



男子選手権者決定戦 入賞者

### 日本スポーツマスターズ2016 ボウリング競技 成績表

参加：男子128名(32チーム) 平成28年9月23日～26日  
女子128名(32チーム) 計256名 秋田・ラウンドワンスタジアム秋田店

2人チーム戦			4人チーム戦		
《男子》(2×6G)	《女子》(2×6G)	スコア	《男子》(4×6G)	《女子》(4×6G)	スコア
第1位 神奈川 B 佐藤 雄司・村上 武男	第1位 青森 A 中村 恵子・鳥谷部エイ子	2,695	第1位 岡山 仁木 隆一・伊浪 功二	第1位 神奈川 大田 千恵・郡司加代子	4,766
第2位 愛知 A 石川 信行・田中 亨	第2位 韓国 A 姜 貞兪・廉 愛景	2,611	第2位 福岡 齋藤 憲治・吉田 友彦	第2位 韓国 A 姜 貞兪・金 順熙	4,761
第3位 三重 B 飯田 剛・鈴木 隆博	第3位 石川 B 有田登美子・奥村 一世	2,597	第3位 滋賀 藤田 忠志・山中 佳一	第3位 愛知 中西 晴子・今井 佳子	4,606
第4位 京都 A マドレ秀弘・高田 勇	第4位 福岡 A 新井田富子・志賀 草子	2,590	第4位 神奈川 齋藤 有作・宮内 康次	第4位 宮城 伊藤 京子・澤田 順子	4,491
第5位 愛知 B 中野 伸彦・山内 博之	第5位 韓国 B 嚴 知慧・金 順熙	2,585	第5位 千葉 石井 弘之・倉橋 敏夫	第5位 北海道 沖崎 美和・寺口エミ子	4,485
第6位 福岡 A 國友 俊康・大賀 保文	第6位 愛知 B 西村沙池子・加藤二志子	2,554	第6位 熊本 千馬 勝・矢野 辰秀	第6位 福岡 谷口久美子・梶原 教子	4,441
第7位 滋賀 A 藤田 忠志・山極 正勝	第7位 神奈川 B 押切 理栄・吉川 真弓	2,540	第7位 愛知 中野 伸彦・山内 博之	第7位 京都 奥 享子・大西 愛子	4,429
第8位 千葉 A 島村 清香・野澤 俊之	第8位 秋田 A 渡辺久美子・佐藤由佳子	2,515	第8位 京都 マドレ秀弘・中川 正明	第8位 石川 泉 洋子・三浦 啓子	4,424

選手権者決定戦		
《男子》(6G)	《女子》(6G)	スコア
第1位 山極 正勝 (滋賀)	第1位 太田 千恵 (神奈川)	1,337
第2位 佐藤 雄司 (神奈川)	第2位 吉川 真弓 (神奈川)	1,320
第3位 魚 雅章 (石川)	第3位 鳥谷部 エイ子 (青森)	1,316
第4位 垣内 泰 (福岡)	第4位 奥村 一世 (石川)	1,304
第5位 日下 俊夫 (栃木)	第5位 廉 愛景 (韓国)	1,290
第6位 吉田 友彦 (福岡)	第6位 松村 佳美 (和歌山)	1,250
第7位 大賀 保文 (福岡)	第7位 押切 理栄 (神奈川)	1,246
第8位 田中 亨 (愛知)	第8位 中西 晴子 (愛知)	1,239

# TOP BOWLER

## vol.109 やるべき事をこなせた

なかの・かつひと 21歳 日本経済大学 中学時代に全日本中学選手権で3連覇を遂げて注目を集める。2011年から全日本ユースナショナルチームに選ばれ、アジアスクール選手権(2014)マスターズ戦優勝など実績を上げる。2015年のナショナル選考会で落選を経験したが、実力を買われて2016年に復帰。男子キャプテンとして出場した世界ユース選手権で4人チーム戦銀メダル獲得を果たし、U22 Fukuoka Summer Cupでも優勝した。



に。「日頃投げている博多でU22大会を優勝できてとてもうれしいです。この大会は全国からU22のトップクラスの選手が集まるし、アジアの国々からも強い選手が集まるので、その中で優勝できたことは自分の中ですごい自信になりました。前回3位で悔しい思いで1年間しっかり練習をしてきたのでうれしかったですし、地元の皆さんや日頃お世話になっている方々や自分の師匠である四宮和裕さんにおめでとうと言ってもらったのが経験として結果につながったのかなと思います。でもまだまだ未熟な部分が多いので今まで以上にがんばりたいです。」

キャプテンを務めたチームで銀メダル！達成感のほどは？「キャプテンをしたのは初めてで、チームをどうまとめているのかわかりませんでした。海外に初めて行く選手も2人いたので、自分がしっかりサポートしてあげようという気持ちで大会に臨みました。4人チームでは全員がメダルに向かってやるべき事をこなせていたと思うし、苦しい時には下地監督のアドバイスや日本の皆さんの声援や仲間の応援に支えられて戦うことができましたし、大会期間中、体のケアやトレーニングをしてくださった瀧本トレーナーのおかげでとても良いコンディションで大会に集中できました。この大会を通してキャプテンとしての責任や大変さがわかりました。この経験を活かして次の大会につなげていきたいです。」個人戦のU22も最高の成績

### 中野勝仁さん(福岡県)

アジアボウリング連盟(ABF)の第24回総会が9月18日(日)に香港で開催され、北川憲協会会長がABF理事に就任しました。

今総会では会長、副会長、理事の役員改選を実施。北川会長は加盟国推薦で候補に上がり、新理事の1人として選

# 北川会長がアジア連盟理事に就任



ABF総会に出席した北川会長(後列左から2人目)

任されました。また会長職に世界ボウリング連盟(World Bowling)会長でもあるシェイク・タラル・モハメド・アル・サバー氏(クウェート)が再任されたのをはじめ、副会長3名、理事5名が決定しました。いずれも任期は4年間です。

アジア競技大会は「オリンピックのアジア版」。日本の夏季大会開催は東京(1958年)、広島(1994年)に続いて3度目となります。ボウリングは1978年のバンコク大会で正式競技に

加わり、前回の仁川大会(2014年)では日本が金2・銀1のメダル獲得を果たしています。国内唯一のボウリング環境と言える愛知県が開催地に決定したことで、大会を通じて競技普及も期待できま

す。

北川会長は、9月19日(月)に行われた第24回アジアボウリング選手権大会の開会式にABF理事として列席。日本代表メンバーにも激励を送りました。

**2016アジア競技大会 愛知・名古屋で開催決定**

アジアオリンピック評議会(OCA)は9月25日(日)に開催した総会において、2026年夏季アジア競技大会の開催都市に愛知県と名古屋市を選びました。



# 井口遼太が上海へ

We are Team JAPAN ナショナルチーム通信

## QubicaAMFワールドカップ



優勝は井口(右)と浦野

第52回QubicaAMFワールドカップ全国決勝大会が9月3日(土)に静岡・浜松毎日ボウル(公競No.121-065)で開催されました。今年の世界大会に出場する日本代表に、全日本ユースナショナルチームメンバーの井口遼太選手(東京・東亜学園高校)が決定しました。

予選を経て、2ゲーム先取制の決勝トーナメントに5位で進出した井口

選手は、準々決勝、準決勝ともゲームカウント2-1で薄氷の勝利。優勝決定戦は昨年のU22 Fukuoka Summer Cup優勝者、佐藤貴啓選手と対戦し、ストレートで破って優勝を決めました。

女子の部は浦野実紅選手が優勝。両チャンピオンは10月14日(金)から中国・上海で行われる世界大会に日本代表として出場します。【写真提供・株式会社フクプラスマア】

## 下地賀寿守監督のボウリングキャラバン

全国5会場で開催します

全国ボウリング協会(公) 国内のボウラー団体と(公社)日本ボウリング協会の共同主催による全国大会「2016グローバルボウリング」

一般男子は渡辺亮選手、シルバー男子は眞鍋春雄選手、シルバー女子は八木幸子選手が優勝しました。【写真提供・関東ボウリング協会】

「めにお申込ください。」

- ▽鳥取会場 12月10日(日) 鳥取スターボウル(鳥取県鳥取市)
- ▽広島会場 12月11日(日) 広電ボウル(広島県広島市)
- ▽沖縄会場 12月17日(日) エナジックボウル美浜(沖縄県中頭郡北谷町)

参加費は無料、申込締切は11月18日(金)です。(各会場定員50名になり次第締め切りです)申込方法など詳細は協会ホームページ(www.jbc-bowling.or.jp)をご覧ください。

## 北村恵が2連覇

2016グローバルトーナメント

「トーナメント」が9月11日(日)に埼玉・新狭山グラウンドボウル(公競No.112-030)で開催されました。

昨年は関東エリアの選手が集まり開かれたこの大会、全国規模へと拡大した今回は183名が参加しました。全日本ユースナショナルチームメンバーの北村恵選手(東京・東京女子体育大学)が、昨年に続いて一般女子部門で優勝を果たしました。

渡辺、北村、眞鍋、八木各選手

# 第49回全日本新人ボウリング選手権大会

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会

後援 兵庫県教育委員会 公益財団法人 兵庫県体育協会 全国ボウリング公認競技場協議会 兵庫県ボウリング公認競技場協議会

主管運営 一般社団法人 兵庫県ボウリング連盟

会場 神戸六甲ボウル

〒657-0035 神戸市灘区友田町5-2-1 TEL 078-841-3151 http://www.rokkobowl.co.jp/ FAX 078-811-3392

2016 10.21(金) - 23(日)

## スポーツくじ

この事業はスポーツ振興くじ(toto)の助成を受けて実施しています。

トータルBIG

ファイヤー 粘度 45.1cps 表面張力 23.8dyn/cm 商品コード 94857 156-8135 納入単位 1c(5ガロン)

アイス 粘度 40.9cps 表面張力 23.2dyn/cm 商品コード 94856 156-8130 納入単位 1c(5ガロン)

## Welcome to the FLEX Generation

KEGEL ABS 日本総代理店

KEGEL ABS

ファイヤー 粘度 45.1cps 表面張力 23.8dyn/cm 商品コード 94857 156-8135 納入単位 1c(5ガロン)

アイス 粘度 40.9cps 表面張力 23.2dyn/cm 商品コード 94856 156-8130 納入単位 1c(5ガロン)